

池原 昭治

さやまの伝本



オトウカの話

オトウカとは、稲荷さまのことで、稲荷神社のお使いはキツネだそうです。それでキツネのことを狭山あたりではオトウカさまといっています。昔のお話です。柏原の上宿には、働き者で気のいいおじいさんが住んでいました。あるとき、奥富の大芦の方に用事がありまして出かけていきま

したが、帰るころは日も傾き、入間川に差しかけたときは、すっかり暗くなりました。そこでおじいさんは、いつもの道ですの小さな提灯一つで、のんびりと歩いておりました。そのときです。河原の方で赤い火がピカリ、ピカリと点いたり、消えたりして流れるように動くのが見えました。「おっ！これが噂のオトウカの嫁入りだねえ！こりゃおつかねえ、早く帰ろうと、川を渡ろうとしました。浅瀬を渡っていたつもりが、急に深みに入りまして、さんざんずりまわされ、深い、深い、助けてくれー！」と叫んだとたんです。なんと川はただの浅瀬で、何ごともありませんでした。これは、オトウカが嫁入りを見せるときに、このようにして人を化かすのだそうです。



分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大版です。何ページの写真の何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。締切り6月29日(金・当日消印有効)

5月号の答え

6ページ・狭山の元気発見・躍の鳴子の写真でした。



短歌

市民の作品展

広瀬公民館で活動しているサークル・水曜短歌会の作品を掲載します。

- 穏やかに寄せては返す波の青
日の射す浜は春めきてあり
五十嵐京子
- クレマチス色のやさしく咲きたれど
持ち来し人は暫し寄り来ず
伊集院恭子
- 吹き過ぐる風に花びら耐へあし
紫色の小さきすみれ
橋本 和枝
- 指揮棒の小さく動きて
「未完成交響曲」は低くはじまる
棕本 杏子
- 雨あがりの幹は色濃くみずみずし
歩みをとめて深く息す
野田 明子
- 羽黒山五重塔を見上げれば
杉木立の中青き空見ゆ
荒川 滋彦

編集後記



5月の末から咲き始めた智光山公園内花菖蒲園の、およそ2千600株の花菖蒲が、まもなく見ごろを迎えようとしています。花菖蒲は、白やピンク、紫など、さまざまの色で見ると人の心をなごませてくれます。散歩がてら、智光山公園を散策してみたいいかがでしょうか。

市では、公式ホームページと公式モバイルサイトで、花菖蒲の開花状況をお知らせしています。咲き始めてから咲き終わりまで、毎日更新していきますので、その日の状況をご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	6月1日現在。(内は前月比)	
住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男 79,692人(-63人)	918人(-10人)	
女 77,322人(+21人)	1,173人(+3人)	
合計 157,014人(-42人)	2,091人(-7人)	
世帯 62,838世帯(-22世帯)	1,513世帯(-12世帯)	

5月の火災・救急件数(消防本部)
火災件数 2件(その他2件)
救急出動件数 449件(搬送人員428人)

公式モバイルサイトのQRコード
QRコードに対応した携帯電話で読み取ると簡単にアクセスできます